

[3222/4D-115-004]

Ver.17

4.内分泌学的検査 >> 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白>>4D115 アルドステロン(ALD) [CLEIA][蓄尿]

アルドステロン(ALD)

[CLEIA][蓄尿]

aldosterone

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

3222

001

アルドステロン[蓄尿]

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト

注 80 外

Uせか2.

蓄尿

中検外2

U. 6ml

*_*_*_*_*-90512

**_*_*_*_*_*

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[3222/4D-115-004]

Ver.17

4.内分泌学的検査 >> 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白>>4D115 アルドステロン(ALD) [CLEIA][蓄尿]

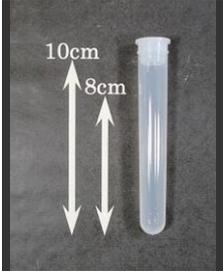
アルドステロン(ALD)

[CLEIA][蓄尿]

aldosterone

連絡先 3764

01	U	丸底プレイン(白)		
	採取材料	蓄尿	採取量	6 mL
	測定材料		測定必要量	2.0 mL



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	遠心後の蓄尿上清	保存条件1	凍結	12 週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）

（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

2025/12/24

16:47

[3222/4D-115-004]

Ver.17

4.内分泌学的検査 >> 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白>>4D115 アルドステロン(ALD) [CLEIA][蓄尿]

アルドステロン(ALD)

[CLEIA][蓄尿]

aldosterone

連絡先 3764

値を示し、また低ナトリウム食や利尿剤投与で上昇し、高ナトリウム食やACE阻害剤で低値となるので採血条件に注意する。

異常値を示す病態・疾患

高値を示す病態
 [レニン活性(濃度)高値]
 続発性アルドステロン症
 [レニン活性(濃度)低値]
 原発性・特発性アルドステロン症
 低値を示す病態
 [レニン活性(濃度)高値]
 アジソン病, NA喪失型21-ヒドロキシラーゼ欠損症
 [レニン活性(濃度)低値]
 低レニン性低アルドステロン症, 11 β または17 α -ヒドロキシラーゼ欠損症

参考文献

佐藤文俊ほか. 2. 原発性アルドステロン症の適切な診断と治療のために. 日本内科学会雑誌. 2014, vol. 1

Nishikawa, Tetsuo *et al.*. Calibration and evaluation of routine methods by serum certifi

LSIメディエンス 検査要項

JLAC10

分析物	4D115	アルドステロン(ALD)
識別	0000	
材料	004	蓄尿
測定法	052	化学・生物発光イムノアッセイ(CLEIA)

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2014/03/28	2014/04/01～	委託先会社名変更(三菱化学メディエンス⇒LSIメディエンス)
3	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(LSIM⇒BML), 報告日数変更
4	2015/06/29	2015/07/01～	報告項目追加(アルドステロン濃度)
5	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定

2025/12/24

16:47

[3222/4D-115-004]

Ver.17

4.内分泌学的検査 >> 4D.副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白>>4D115 アルドステロン(ALD) [CLEIA][蓄尿]

アルドステロン(ALD)

[CLEIA][蓄尿]

aldosterone

連絡先 3764

6	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[O]⇒[]
7	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
8	2019/04/30	2019/04/01～	外注業者変更([BML]⇒[LSIM]), 基準範囲変更
9	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
10	2021/02/26	2021/03/01～	検査方法変更
11	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
12	2022/06/13	2022/02/01～	検体採取について・検査方法・基準値変更
13	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
14	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
15	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
16	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定
17	2025/12/24	2025/12/24～	[検体採取について]を修正